

対象国の条件:

研修コース番号 :J1804247

案件番号 :1884906

主分野課題 :保健医療/母子保健・リプロダクティブヘルス

副分野課題:

使用言語 :英語

案件概要

宮崎県で展開されている周産期医療に関する地域連携、多職種連携に関する取組を包括的に理解し、周産期医療技術の向上・維持に対する取り組みを体験することにより、参加国の周産期医療に対する医療安全、感染対策およびチーム医療の実践に関する方策を検討する。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

自国で実現可能な周産期医療の安全およびチーム医療実践に関する計画が立案される。

【成果】

1. 周産期医療向上のための周産期医療体制や女性健康支援の重要性について説明できる。
2. 周産期医療におけるチーム医療推進の有効性について説明できる。
3. 周産期医療や感染症対策に関する医療技術の改善・維持のための取組みについて説明できる。
4. 自国で実現可能な周産期医療の安全およびチーム医療の実践に関する改善策（アクションプラン）策定能力が向上される

【対象組織】

周産期医療を担当する医療機関もしくは周産期医療の制度を策定する保健省部局

【対象人材】

医師、看護師等の医療従事者、もしくは周産期医療を担当する（保健省）行政官等。同一病院からの複数名参加を歓迎。

内 容

1. 妊婦管理法：
 - (1) 助産所、1次施設、2次施設、3次施設の各医療レベルで行われている医療や母子保健支援の講義・施設見学
 - (2) 母体および新生児搬送に関する意見交換（産科医、救急救命医、消防隊）および施設見学
 - (3) 助産師会活動や地域参加型の母子支援活動や乳幼児栄養向上プログラムに関する意見交換
2. 感染対策：
 妊婦健診での取組および分娩周辺期の対策（血液の処理、ガウンテクニック等）に関する意見交換とシミュレーション演習
3. チームで取り組む周産期医療技術の向上・維持：
 産科危機的出血、新生児蘇生、助産ケアに関する講習会への参加
4. 周産期医療システムの普及体制や向上に向けての計画立案
5. 医科学、看護学系の学生および若手医師との交流・討論

本邦研修期間

2018/9/4～2018/9/30

担当課題部

人間開発部

所管国内機関

JICA九州

関係省庁

実施年度

2017～2019

主要協力機関

国立大学法人 宮崎大学

**特記事項
及び
ホームページ**